

4月23日



大きくなってね! 安岐中央小児童がアユ放流

4月23日(火)安岐中央小学校(田中清照校長)の4年生27人が、近くを流れる安岐川でアユを放流しました。毎年8月に川遊びフェスティバルを開催する「安岐川を素足であるく会」(徳部伝造会長)のメンバーと一緒に、児童たちは「大きくなって帰ってきてね!」とやさしく声をかけながら川へ放流しました。

ま
ず
の
話
題

第7回東部地区乾しいたけ品評会

大分乾椎茸の品質向上や生産拡大を目指した品評会が、東部地区森林・林業活性化協議会の主催で4月24日(水)、安岐総合支所で開催されました。

品評会は乾椎茸の部門(どんこ・こうこ・こうしん)とほだ場の部門で行われ、国東、杵築、速見、別府地区の生産者から各銘柄計273点の出品がありました。審査の結果、こうしんの部優等賞に村上幸吉さん(安岐町明治)、ほだ場の部最優秀賞に阿部悦男さん(安岐町山口)が選ばれました。

4月24日



▲表彰を受ける村上幸吉さん



4月28日

新病院で初の病院祭

新しくなった国東市民病院で4月28日(日)、病院祭が開催されました。「地域医療の未来へ、想像と創造～市民とともに考える健康～」をメインテーマに、三河市長や二宮浩一市医師会長などを交えたシンポジウムをはじめ、地元小中学生による演奏やダンスの発表がありました。

また、病院スタッフによる無料健康相談や地元団体のバザーも行われ、多くの来場者でにぎわいました。

遺徳をしのび・・・第225回梅園祭

4月29日(月)、郷土の先哲、三浦梅園先生の遺徳を偲ぶ「梅園祭」が梅園の里で開催されました。この催しは、梅園祭実行委員会と西武蔵地区公民館の共催で今年で225回目を迎えました。

祭事・式典では読経や焼香に続き、安岐中央小学校の児童が「梅園先生をたたえる歌」を合唱。記念行事では、作文・詩吟の発表をはじめ富永子供神楽や大正琴の演奏が披露され、たくさんの参加者を魅了させました。

なお、日田市大山公民館のロバート・ワトソン館長による「私の出会った日本のかたち、日本のこころ」と題した心和む記念講演もありました。

4月29日



▲安岐中央小学校児童による富永子供神楽